

めぐみ

2023年 11月号

学校法人 聖公会北関東学園
認定こども園
初雁幼稚園
〒350-0057 川越市大手町 8-5
Tel.222-5385 Fax 228-5010
E-mail hatsukari-kg@nifty.com

大人の修学旅行～2泊3日京都の旅～

補助教諭 佐久間洋子

私の高校時代の修学旅行の思い出といえばバット、グローブ、スパイク、ユニフォーム持参で毎朝晩宿舎前にて素振りとキャッチボールしていたことがあげられます。なぜなら、修学旅行最終日翌日が県大会だったため、家には帰宅せず途中下車し、そのまま試合に臨んだからです。

高校時代のソフトボール班の仲間は9人。卒業後はそれぞれの道へ進み、家庭を持ち、子どもたちも成長して、ここ数年ぐらいから集まる機会を定期的に持つことができるようになってきました。それは地元長野であったり、東京であったり。去年は川越にも遊びに来てくれました。全員集合は難しいけれど、集まったメンバーであれこれ懐かしい話から現在の健康報告など話は尽きません。そして必ず話題になるのが例の修学旅行。不完全燃焼だった修学旅行を今年こそリベンジしようではないかと「大人になった私たちが存分に楽しむ修学旅行」を決行することになったのです。

仕事と家庭とやりくりをして参加したのは地元長野から3人東京方面から3人四国松山から1人の計7人。アラ還おばちゃん7人組の2泊3日 in 京都、最強修学旅行です。頼れるわが主将が中心となり、行きたいところをふまえての行程決定。宿泊・食事・スイーツなどそれぞれ担当が決められ遂行されました。

1日目 宇治集合～スイーツ堪能～平等院～伏見酒蔵見学～十石舟～寺田屋～酒蔵リノベーション鳥せいにて宴～ホテルはファミリールームで7人一緒にわいわい、これぞ修学旅行!!
この日の歩数 約17,000歩

2日目 早朝6時からの清水寺～産寧坂～贅沢モーニング～二寧坂・八坂の塔～八坂庚申堂～安井金比羅宮～六波羅密寺～八坂神社～南禅寺～順正湯豆腐ランチ～建仁寺～祇園スイーツ～本能寺～新京極・寺町通り散歩～京極かねよきんし井&生ビール～ホテルこの日は2部屋に分かれての宿泊 なぜか内野と外野で分かれた笑 約24,000歩(足痛い…)

3日目 嵐山・渡月橋～天龍寺～竹林の小径～野宮神社～おばんざいランチ～車折神社～京都駅(買い物タイム)～解散 約18,000歩

3日間の写真・動画約700枚。グループSNSにあがりました。楽しかった。とても楽しかった。大満足。そして写真見て、また楽しんでます。みんな元気に行って来ることができ、たくさんしゃべって笑って、パワー充電しました。仲間に感謝。そして2泊3日家を留守にしたけれど気持ちよく送り出してくれたわが家族、仲間の家族に感謝です。

みなさんも懐かしい仲間とのおでかけ、いかがですか？

今月の保育目標と予定

☆保育目標☆

今月のテーマ

「みのりがいっぱい」

今月のねがい

- 気持ちや考えを伝えながら、友だちと分かち合う喜びを感じる
- 秋の自然物と触れ合い、季節を感じる
- 豊かな秋の実りを喜び、神様に感謝する

学年別のねがい

- (1歳) 安心して、気持ちを出す
- (2歳・満3歳) 友だちと楽しむ
- (年少組) 気持ちを伝え合おうとする
- (年中組) 友だちの思いを受け止めようとする
- (年長組) 友だちと協力し、自分たちで進めていく楽しさを味わう

ひとこと

外で遊ぶのも、散歩に行くのも、とても気持ちの良い季節となりました。運動会を経験して一回り成長した幼児部の子どもたち。すみれ組への憧れや、クラスの仲がより深まっているように感じます。保育部はお散歩に出てどんぐりや落ち葉を拾ったり、虫を見つけたり。友だちや先生に報告しては嬉しそうな笑顔がたくさん見られます。11月は嬉しい実りの季節。神様からいただいた恵みに感謝し、友だちの存在を存分に感じながら過ごしたいと思います。

★予定★

日	曜	行事などの予定
1	水	入園受付
2	木	
3	金	文化の日
4	土	就労家庭保育実施日
5	日	
6	月	
7	火	面談予備日
8	水	入園面接
9	木	年中少園外保育（予備日13日）
10	金	全体礼拝 ※幼児祝福式は24日に変更
11	土	保育部交流・懇談会 就労家庭保育実施日
12	日	
13	月	
14	火	県民の日 就労家庭保育実施日
15	水	
16	木	おはなしの会（年中長組）
17	金	収穫感謝礼拝
18	土	就労家庭保育実施日 幼稚園委員会④
19	日	
20	月	芋煮会
21	火	園児内科健診②
22	水	11月生まれ誕生会（年中組出し物）
23	木	勤労感謝の日 卒園生の日 職員会議⑥
24	金	全体礼拝（幼児祝福式）
25	土	就労家庭保育実施日
26	日	
27	月	全埼私幼連 PTA 振興大会
28	火	
29	水	
30	木	

今月の聖歌 「はたけにおやさい」

今月の歌 「さんぽ」



チャプレンのページ

自分軸



若き日に、あなたの造り主を心に刻め

コヘレトの言葉 第12章1節 聖書協会共同訳

立教新座中学校・高等学校で教師をしていた頃、中学生対象の海外研修を引率したことがあります。カリフォルニア州ジュリアンというところにある、教会の広大なキャンプ場で、英語だけを用いて現地の生徒たちと1週間過ごすプログラムでした。

その時、私より少し先輩の司祭さんにお会いしました。温厚で細かい配慮もなされる立派な方でしたが、私にこのような質問をなさいました。

「日本の方々を宗教をどのように考えているのですか。聞くところによると日本人は、生まれると神社へ参拝し、結婚するときは教会でキリスト教の結婚式を挙げ、亡くなると仏教で葬儀をするというではありませんか。決してこれを批判しませんが、宗教をどのように考えているのか聞きたいのです。」

人間は自分の力だけで生きているのではなく、集団の多くの人々、そして自然や目に見えない力を受けつつ生きています。そのことは多くの人がちゃんと気づいていて、大切に思っています。だから人生の大切な節目に、健康や安全、新しい人生のスタート、人生の最後の務めをきちんとしようとするわけです。しかしながらその時にいろいろな宗教がかかわるのを、海外の人たちは不思議に思っていたわけです。

引率した生徒たちは、大半が信徒ではありませんし、ご家族も同様でした。彼らに率直に聞いてみたところ、「よくわからない。そういうものだとしか考えたことがない」との返事でした。おそらく、日本人の大半が同様に答えるのではないかと思います。また日本が含まれるアジアは、世界で最もキリスト教の割合が少ない地域になります。ヨーロッパや南北アメリカ、オセアニアはもちろん最多、イスラム教が多い中近東でもキリスト教は2番目に多く、キリスト教が少数派なのはアジアだけです。

そうした地域性もあるとは思いますが、自分自身が何を大切に生きているのか、自分自身の軸、自分軸はどこにあるのかを明確にしておかないと、周りに流され、人に流され、自分自身が何者であるかわからない生き方をしなくてはならなくなってしまいます。

冒頭の聖句は、旧約聖書のコヘレト（教師）の言葉の一節です。今回は最新の聖書協会共同訳から引用しました。

海外の映像が国内同様に放映されるようになり、電話はもちろんのこと、ビデオ通話も海外の人と無料でできる時代になりました。子どもたちは将来、世界との多くの関わりの中で生きていくことになるでしょう。これからは自分自身の生き方が問われる時代になります。意思疎通がきちんとできる人間になるためにも、自分軸をしっかり持ってもらいたいと願います。

（鈴木 伸明）

クラスの窓



つくし組

川越まつり

10月に入ると紅白幕や提灯が飾られ、至る所に川越祭りのポスターも。日に日に街の様子が川越まつりに向けて変化してきました。散歩先で「大きいねー」と山車蔵を見上げていると、「ここにキラキラした山車が入っているんだよ」と地域の方が教えてくださったり、おまつり会館ではウィンドウに飾られているミニチュアの山車を満足するまで見せてくださったり。子どもたちはポスターの狐を見て「コンコンさん！」とワクワク。年に一度の川越まつりですが、生活環境の中に川越まつりがあり、着々と川越っ子になっているなあと感じています。

まつりの前日、お手製初雁提灯を持って山車探しの散歩へ行きました。(提灯は園を出発してすぐ手放されてしまいました…笑) 大手町の山車がおまつり会館から移動してくるのに遭遇し、あまりの大きさと迫力に「おー！」と見上げて手を叩いて大喜び。夕方の散歩では、幸町の山車の前で写真を撮らせていただきました。いろいろなことが分かり初めてきたつくし組の子どもたちにとって、今年の川越まつりはご家族との思い出もたくさんできたようです。来年はまた違った姿を見せてくれることでしょうか。今から楽しみです。

もも組

なんだか楽しそう！

暑さもやわらぎ園庭で遊ぶことが増えたもも組。遊んでいるとお兄さんたちが集まってきて、「何が始まるんだろう」と興味津々な様子でじーっと見ていると、楽しい音楽が聴こえてきました。運動会の体操の「あいうえおんがく」です♪踊ったことはありませんが、吸い込まれるように真ん中へ行って、見よう見真似で身体を動かしてみる女の子たち。興味はあるけれど、ドキドキして遠くから見ている男の子たち。参加の仕方はさまざまですが、みんな遊びの手を止めて、わくわくそわそわしていました。夕方になると今度はリレーが始まり、自然に列に並び1周ぐるっと走る姿にびっくりしました。ルールはよくわからないけれど、「なんだか楽しそう！」という気持ちでやる気がふつつわきあがっているようでした。

1学期の頃は知っている先生、知っている友だちと安心して過ごすことが多かったのですが、少しずつお兄さんたちの遊びが楽しそうに見えてきているもも組。運動会の練習楽しそうだったね！またお兄さんたちと遊んだり踊ったりしようね♪

ちゅうりっぷ組

祭りの余韻

川越祭りが終わると、朝から「だしひいたよ」「チョコバナナたべたよ」と話したり、「〇〇ちゃんとあったよ」と幼稚園の外でも友だちと会えた嬉しさを教えてくれたり、たくさん話を聞かせてくれました。祭りの余韻は遊びにも繋がり、川越祭りごっこが始まりました。まず、友だちと一緒に段ボールにクレヨンで色を塗り、御神像の人形代わりにウサギとゾウの人形を入れたら山車の完成です。山車を担ぎ歩こうとしますが、友だちと同じ物を持って歩いたり、

曲がったりするのは少し難しそうです。それでも、先生や友だちと一緒に「そーれ！」と元気な掛け声を合わせれば大丈夫！元気に園内を練り歩く子どもたちでした。

次の日、部屋で黄色の花紙を丸め、茶色の絵の具を塗りチョコバナナを作りました。他のクラスの友だちも買えるように、ウッドデッキにお店を開店します。「いらっしやいませ！あまいですよー」「つかれたからだにどうぞー」などと宣伝上手な姿をみて、「祭りで聞いたことを真似しているのかな」と思う担任でした。この一週間はいろいろなところからお囃子ごっこや出店ごっこが行われ、いつもより長く祭りの余韻に浸ることができ、子どもも大人も楽しかったです。

たんぽぽ組

小さな友だちの思いにも寄り添って

気持ちの良い季節になり、散歩に出かけることが増えてきました。「お散歩に出かけよう」と話すと、支度の早いみんな。準備をバッチリ終えて、手つなぎペアと揃って並んでいます。その素早さに、「お弁当後でも行けるのでは？」と計画して出かけました。広場で虫を捕まえたり、探検したり、走り回ったりと何もない広場でもこんなに楽しめるのだと感心しました。パパ先生が来てくれた時は、初雁公園まで行ってお弁当を食べてから遊びました。山に登って散策したり、ブランコを思う存分パパ先生に押ししてもらったり、園では味わえない楽しさを満喫しました。

じょうずに出かけられるようになったたんぽぽ組のみんなに、次の役割がきました。それは、ちゅうりっぷ組の友だちをしっかり守って手をつなぐこと！金曜日の教会の行き帰りや、近くを散歩で出かけているのです。小さな年少さんと目を合わせてお話ししたり、大事なきれいな石をプレゼントして気持ちを盛り上げてくれたり、年少組が楽しく散歩できるよう張り切っています。運動会で友だちと息を合わせることを学び、更にステップアップして、小さな友だちの思いにも寄り添って頑張るたんぽぽ組に、成長を感じています。

すみれ組

多峯主山遠足

先日、多峯主山遠足に行ってきました。事前に歩く練習も兼ねて菓子屋横丁へ買い物に行ったり、公共の場でのルールや多峯主山に伝わる伝説を記者ノートで学び、ワクワクしながら当日を迎えました。東飯能駅から30分ほど歩いていざ入山！山道ではいろいろなキノコを見つけ楽しんでいましたが、登るほど険しくなり徐々に疲れも見え始め、途中「もう無理だ、ママに会いたい」と言い、立ち止まった子がいましたが、その姿を見て上にいた子が手をつなぐため戻ってきてくれました。他の子は友だちのリュックを後ろから支えながら歩いてくれました。そんなさりげない優しさに自然と「ありがとう」を伝え、再び登り始めました。

頂上では「ママおいしいよー！」と大声で叫びながらお弁当を食べ、食後はかくれんぼをして目いっぱい遊ぶ子どもたち。持参した双眼鏡を覗きながら、家の方向やスカイツリーを夢中で探しました。「息を止めて7周走ると竜が出る」という伝説の雨乞いの池では、「竜が出てこないから嘘でしょ！」と言うみんなでしたが、走りながらハアハアと息をしていたことには気づいていない姿が何とも愛おしいです。

一つずつ行事を経験し成長していく子どもたち。無邪気で今に一生懸命な姿を見ていると、私も元気をもらえます。ぶつかることもまだたくさんありますが、そのままの思いを伝え合いながら、共に過ごせる時間を大事にしていきたいです。

わが家のまど



(293) 仲良し姉妹

ちゅうりっぷ組担当教諭 山本 佳穂



10月半ばに妹と韓国へ旅行してきました。夏に旅行を計画していたのですが、私の体調不良で泣く泣くキャンセルしたため、今回思い切ってリベンジしました。妹とは4つ歳が離れていますが、普段から休みが合えば、買い物や旅行を楽しんでいます。姉妹で仲が良いことに周りからはよく驚かれますが、小さいころから仲が良くどこに行くにも一緒だったため、何でも話せる親友のような感覚です。私の母も今でもよく姉妹で出かけていて、休日を楽しんでいます。そんな母たちの姿を見ていたため、私たち姉妹も自然とそういう関係になったのかもしれませんが。

韓国を訪れるのは初めてでした。繁華街は夜遅くまで賑わっていて楽しかったです。現地の人たちは優しくてホッとしました。私たちが地下鉄で途方に暮れていると、現地の人が親切に道を教えてくれました。韓国ドラマが好きで、韓国語を独学で勉強していたのですが、私の韓国語は全く役に立たず…。インフォメーションの仕事をしている妹の英語に思いの外、助けられました。韓国にはおしゃれなカフェがたくさんあり、どこも魅力的でした。充実した旅行になり、思い切ってリベンジして良かったです。

コロナ禍が落ち着き、こうして気軽に海外旅行を楽しめるようになったことが嬉しいです。次の旅行はどこへ行こうか妹と相談中です。



今月の聖書のおはなし



☆11月10日「クリスマス物語Ⅰ みつげ、誕生」 ルカによる福音書 1:26～38、2:1～7

マリアさんのもとに大天使ガブリエルが現れ、神様の子どもが産まれることを知らせました。ガブリエルの言うとおりに、マリアさんのお腹に子どもが宿りました。その頃、王様の命令で人口調査があり、マリアさんとヨセフさんはベツレヘムへ向かうことになりました。旅の途中、どこの宿屋もいっぱい泊まる場所がありませんでしたが、親切な宿屋さんが馬小屋を貸してくれました。マリアさんはそこで赤ちゃんを産み、白い布にくるんで、飼い葉桶に寝かせました。

☆11月17日「収穫感謝礼拝」

普段わたしたちが食べている野菜や果物は、神様の恵みを受けて育っています。たくさんの恵みを与えてくださる神様への感謝をしながら、周りの人に分け与える大切さについてもお話の中で伝えます。各ご家庭お持ちいただいた野菜や果物を礼拝でお捧げし、お世話になっている方へお届けに行きます。

☆11月24日「幼児祝福式」

いつも子どもたちを見守ってくださる神様に、自分たちが大切に愛されて大きくなったことを感謝して礼拝を捧げます。また、この先の健やかな育ちを願い、司祭から一人ずつ祝福を受けます。